



デウォルト電動工具 取扱説明書

DCF680G2 7.2Vスクリュードライバー

DCF680N 7.2Vスクリュードライバー (本体のみ)

*充電器、バッテリーは付属していません

製品の各部名称と仕様



こだわりのデウォルト... 強靱な作業場を提供します。
デウォルトブランドの高品質・耐久性は現在、世界各国で圧倒的な支持を獲得しています。デウォルト電動工具は1923年アメリカ合衆国、レイモンド・デウォルトによって最初の卓上スライド丸ノコが開発されました。以来、石工、木工、金工用工具を問わず多数の工具を提供し、その耐久性はあらゆる作業場の要望にお応えし、満足していただいています。すべての工具はハイテクを駆使した弊社製造技術のもとに作られ、また出荷前の品質管理には万全を期しています。強靱な耐久性、作業の確実性、ハイパワーを作業場でお楽しみください。

仕様

品番	DCF680
電圧	DC7.2V
回転数(回転/分)	0-430
締付トルク	4N・m (41kgf・cm)
ビットホルダーサイズ	6.35mm (1/4 in.)
質量(充電池含まず)	0.42kg

バッテリー品番	7.2V リチウム電池DC7.2V
DCB080	
電圧	DC7.2V
充電池	リチウムイオン充電池
電池容量	1.0Ah
質量	0.08kg

充電器品番	DCB095
出力電流	1.0A
充電時間	1時間

目次

製品の各部名称と仕様	1
安全上のご注意	2
警告（電動工具を安全にお使いいただくために）	2
注意（電動工具を安全にお使いいただくために）	3
警告（電動工具に関する安全上の追加事項）	3
警告（充電機と充電器に関する安全上の事項）	4
充電の手順	5
製品の特徴と使用方法	5
メンテナンス	8
アフターサービスについて	8
充電電池と環境	8
アクセサリ	8

安全上のご注意



警告

正しく安全にお使いいただく為に、ご使用前に必ずこの取扱説明書にある指示事項を全てお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られるように必ず保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

電動工具をお取扱いの際には、火災や感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示マークで区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「障害を負う可能性又は物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で説明しています。



このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。



警告 電動工具を安全にお使いいただくために。

この取扱説明書を大切に保管し、必要な時に備えてください。

◆作業場の環境について

- 明るく清潔で、乾いた場所で作業してください。散らかった作業場や作業台での作業は事故の原因になります。また、雨の中や湿った場所など本体内部に水の入りやすいところでは使用しないでください。湿気はモーターなどの電気絶縁を低下させ、感電事故につながります。
- 危険物のまわりでは決して作業しないでください。通常、電動工具は使用中またはスイッチのオン・オフ時にスパーク（火花）が発生しますので、引火性の液体やガスのある場所の近くで使用しないでください。
- お子様を近づけないでください。お子様や外部の方、訪問者が電動工具に触れないようにしてください。作業場所は作業員以外、立入禁止にしてください。

◆個人的な警告事項

- 不用意なスイッチ・オンは決してしないでください。充電機を本体に差し込む前に必ずスイッチ・オフの状態であることを確認してください。持ち運ぶ間はスイッチに手を触れないようにしましょう。スイッチが入ると不意に刃物類が作動し、重大な事故を引き起こす恐れがあります。
- 保護メガネや他の保護器具を必ず使用してください。飛散する切り粉から目を守るために保護メガネを必ず着用してください。ホコリが大量に出る作業では健康のためにも防じんマスクを併用してください。作業環境によっては耳栓、ヘルメット、手袋、安全靴の使用も必要です。

◆工具の使用と手入れ

- 加工材はしっかりと固定して作業してください。クランプや万力などで加工材を固定してください。手で保持するよりも安全ですし、両手で電動工具を使用することは安全につながります。
- スイッチが入らない、あるいは切れない場合は、ご使用を直ちに中止してください。スイッチの故障した電動工具は、不意に刃物類が作動し、重大な事故を引き起こす恐れがあります。所定のサービスセンターで修理してください。
- 電動工具の調節や刃物、ビット類の交換の際には、必ず充電機を本体から外してください。また、必ずスイッチがオフであることも確認してください。こうした確認は不意に電動工具が作動して引き起こす事故を防止します。
- 指定の付属品、アタッチメントを使用してください。デフォルト社製工具への使用を推奨していない付属品やアタッチメントの使用は危険をとまなうことがあります。

注意 電動工具を安全にお使いいただくために。

◆電気に関する安全事項

- 電源コードを乱暴に扱わないでください。コードの部分を持って工具をぶら下げて持ち運んだり、コンセントから外す際にコードを引っばったりしないでください。感電やショート等の原因となるので、コードを熱いものや油、薬品類に接触させたり、鋭利なものでキズをつけないように注意してください。万一、誤ってキズをつけた場合はその箇所を手を触れず、直ちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。キズついたコードは火災を引き起こす危険性があります。

◆個人的な注意事項

- 常に注意して作業を行なってください。電動工具を使用する際、取扱方法、作業の手順、周囲の状況などに十分注意し作業に集中してください。疲労時や飲酒、薬の服用時などには決して使用しないでください。使用時の集中力の欠如は重大な事故を引き起こす原因となります。
- 作業に適した服装で作業を行なってください。そで口の開いた服装や宝石類を身に付けないでください。電動工具の駆動部分に巻き込まれる恐れがあります。屋外で作業をする際には、滑り止めのついた履き物を着用することをお勧めします。長髪の方は作業の邪魔にならないようにしてください。
- 調整用キー、レンチ等は、使用時以外は必ず取り外してください。スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が全て取り外されているかどうか、常に確認する習慣をつけてください。
- 無理な姿勢で作業をしないでください。常に足場を安定させ、バランスを保つようにしてください。無理な姿勢は、思わぬ事故を引き起こす原因となります。
- 電動工具に無理な力をかけないでください。電動工具は、機械本来の用途や負荷状態の限度内でご使用いただくのが基本です。また、所定の速度で使用することによって、仕上がりの良い安全な作業ができます。決してモーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- 使用していない電動工具はお子様や初心者の方の手が届かない乾燥したところに保管してください。電動工具はお子様や初心者の方には大変危険なものです。使用していない時は本体と充電電池を別々に保管することも心がけてください。
- ◆工具の使用と手入れ
 - 作業にあった電動工具を使用してください。小型の電動工具やアタッチメントを大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。けがの恐れがあります。
 - 指定された用途以外には使用しないでください。けがの恐れがあります。

注意 電動工具を安全にお使いいただくために。

- 損傷部品を点検してください。引き続き使用する前に、安全カバーやその他の部品に損傷がないか点検してください。また正しく動作するか、所定の機能が発揮されるかどうかを確認してください。可動部分の位置ずれや引っかかり、部品の破損、取り付け状態、その他に異常がないか点検してください。損傷した不良部品は、所定のサービスセンターで修理または交換してください。
- 電動工具と刃物類は、こまめに手入れをしてください。安全で効率の良い作業をしていただくために、刃物類はよく手入れをし、シャープな状態を保ってください。電動工具は常に手入れのゆきとどいた状態で使用してください。
- ◆修理／メンテナンス
 - 電動工具の修理は有資格技術者のみが行えます。修理、メンテナンス、調整は所定のサービスセンターの有資格者が行わなければなりません。
 - 純正部品のみを使用してください。十分な能力を発揮するために、修理メンテナンス、調整は、純正部品のみを使用して行なわなければなりません。

警告 電動工具に関する安全上の追加事項。

- 壁や床に穴をあける際には、内部の電気配線や配管に注意してください。感電や水漏れ、ガス漏れなどの事故を引き起こさないように十分調査してから作業を行なってください。壁裏などの通電中の配線を誤って切断した場合などに備え、二重絶縁されている本体のハンドル部分をつかんで作業を行なってください。通電中の配線に触れると、作業者が感電する危険性があります。
- 壁や床面を切断、もしくは電流の流れたワイヤーのあるところで、工具の金属部分には絶対にさわらないでください。通電中のワイヤーを誤って切った場合、感電するのを防ぐために、二重絶縁されたハンドル部分でのみ工具をつかんでください。
- 手を作動中の刃物に近づけないでください。作動中は絶対に刃物にふれたり、床などの上に置かないでください。作業は工具のハンド・グリップをしっかりとかんで行なってください。手の指を刃物に近づけないように注意してください。
- 刃物類はよく切れる状態を保ってください。切れない刃物の使用は、刃物が使用中にはずれたり、切断作業中に失速したりする原因となります。
- 木材の中には毒性の銅クロムヒ酸塩 (CCA) が含まれるものがあります。木材の穴あけ作業時、銅クロムヒ酸塩をあやまって吸い込んだり、肌にもふれたりしないよう、細心の注意をはらってください。

警告 電動工具に関する安全上の追加事項。

電動工具のラベルには、下記のマークが含まれることがあります。

V	電圧
==	直流
	二重絶縁
	注意
no	無負荷状態でのスピード
○○○min ⁻¹	1分毎の回転数
○○○bpm	1分毎の打撃数

警告 充電電池と充電器に関する安全上の事項。

◆下記の注意事項を全てお読みください。

- 充電器の定格電圧が電源と一致していることを確認してください。充電器の電圧は定格板に記載されています。
- 充電器は屋内のみで使用してください。また、充電器を濡れた場所や、ちらかった場所では使用しないでください。特に水まわりの近くでの使用や、水の中に浸けたりしないでください。
- 充電器のコードやプラグ部分に損傷がある場合、使用せず新しいものと交換してください。
※交換作業は、製造者もしくはその代理店又は同等の有資格者が行います。
- 充電器が衝撃、落下、その他何らかの原因で損傷した場合には使用せず、所定のサービスセンターにお持ち込みください。
- 2個の充電器どうしをけっして一緒に接続しないでください。
- 導電体の物を充電器の充電端子に接触させないように十分注意してください。充電器の充電端子には高電圧がかかっており、感電および感電死の恐れがあります。
- 充電電池の表面にひび割れや損傷がみられる場合は、絶対に使用しないでください。充電器に破損した充電電池を差し込むと、感電および感電死の恐れがあります。
- 電源コードを乱暴に扱わないでください。コンセントから電源プラグをはずすときは、コードを引っ張らないでください。電源コードの位置に気をくばってください。コードを踏みつけたり、つまずいたりすると危険ですし、コードをキズつけることになります。
- 充電器の上にものを絶対に置かないでください。柔らかいもの（例：綿、スポンジ等の材質）の上に充電器を置かないでください。充電器の上部と底部に通気するための穴が切ってあります。穴をふさぐと、熱が充電器内にこもり、大変

警告 充電電池と充電器に関する安全上の事項。

危険です。充電器は熱のあるところをさけてご使用ください。

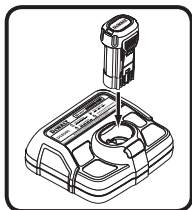
- 充電器を分解する試みは絶対にしないでください。修理／メンテナンスは、所定のサービス・センターに依頼してください。発火したり、異常動作してケガをする恐れがあります。
- 充電器を掃除する際、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。これは感電を防止するために必要な事項です。充電電池を充電器から抜くだけでは、感電の防止にはなりません。
- 充電電池を開ける試みは絶対にしないでください。充電電池本体にひびや傷へこみを発見した場合、再充電することなくすぐにご使用をおやめください。
- 周囲温度が4℃以上、及び40℃以下の環境下で充電電池の充電を行ってください。また、温度が40度を超える場所に保管しないでください。これは充電電池に重大な損傷をあたえるのを防止するために必要な事項です。
- 充電電池がひどく損傷していたり完全に消耗していても、焼却しないでください。充電電池が火の中で爆発する恐れがあります。過度な使用や極端な温度状況のもとでは、わずかな量の液もれが充電電池から発生することがあります。もし外部シールが破れて漏れ出した液体が皮膚に触れた場合は、すぐに水で洗い流し、最寄りの医療機関にご相談ください。
- 充電電池の端子間を絶対にショートさせないでください。ネジ、刃物、くぎなどの金属が充電電池の充電用金属端子に接触してショートすることのないように注意してください。
- 充電電池の充電は専用の充電器のみで行なってください。誤った使用法は感電を引き起こしたり、充電電池を加熱させたり、液漏れなどを引き起こす原因となります。取扱説明書に記載してある充電器でのみ、充電電池を充電してください。
- 専用の充電電池でのみ本製品をご利用ください。他社製の充電電池での本製品のご使用は、火災を引き起こす危険性があります。取扱説明書に記載している充電電池でのみ、本製品をご使用ください。
- 充電中でないときは、プラグをコンセントから必ずはずしておいてください。
- 延長コードにつないで使用しないでください。
- 「充電上の注意事項」を必ずよくお読みください。



充電電池を工具から取り外すとき、充電電池の側面にあるバッテリーリリースボタンを押したまま、充電電池を左図の②の方向に引きますと工具から外れます。

△充電電池を充電する際、「充電の手順」の項に従って充電してください。

◆再充電



いつも通りの仕事をさせた時に工具が力強く作動しない場合は絶対に使用せず、再充電してください。以前に少しでも使用した充電電池も、ご使用前に再充電することを心がけてください。

◆ポジションチェンジボタンの利用方法

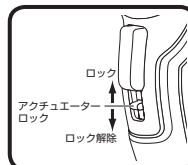
△誤作動を防ぐために保管時やご使用にならない間は、常にアクチュエーターロックをロックの位置にしてください。



左右にあるポジションチェンジボタンのいずれかを押しながら、本体を反転することによりI型とL型の2種類のポジションに変更できます。
I型からL型に変更する際は、ポジションチェンジボタンを押しながらグリップを右にねじってください。
L型からI型に変更する際は、ポジションチェンジボタンを押しながらグリップを左にねじってください。

◆操作方法

△誤作動を防ぐために保管時やご使用にならない間は、常にアクチュエーターロックをロックの位置にしてください。

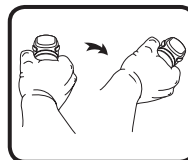


左図のようにアクチュエーターロックを下方方向にスライドさせてロックを解除します。



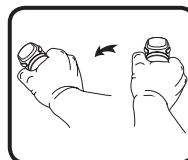
アクチュエーターを押し、その状態を保持するとバッテリー残量ゲージが点灯し、GYROセンサーが本機の位置情報を認識します。残量ゲージが点灯した状態で、製品を右側に傾けると正転（ネジ締め方向）、左に傾けると逆転（ネジ緩め）します。アクチュエーターを押さない限り、本機は起動しません。

◆ネジを締めるときの使い方（L型）



アクチュエーターを押しながら製品を右に傾けるとGYROセンサーが作動して自動的にネジ締めが開始されます（右回り）。製品の傾け角度が大きいほど回転数が早くなります。ネジ締め前にネジ山にビットがしっかり入っていることを確認してください。そしてゆっくり製品を傾けるとネジ締めが開始されます。その後、製品をさらに右に傾けると回転数が速くなり最後までネジ締めを行うことができます。

◆ネジを緩めるときの使い方（L型）



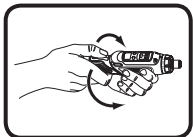
アクチュエーターを押しながら製品を左に傾けるとGYROセンサーが作動して自動的にネジ緩めが開始されます（左回り）。製品の傾け角度が大きいほど回転数が早くなります。ネジ緩め前にネジ山にビットがしっかり入っていることを確認してください。そしてゆっくり製品を傾けるとネジ緩めが開始されます。その後、製品をさらに左に傾けると回転数が速くなりネジを緩めることができます。

◆補足説明



LEDライトが点灯するとGYROセンサーが製品の位置情報を認識いたします。左図のように天井のネジ締めやネジ緩めなどの作業のときでもお使いいただけます。

◆I型での操作方法



I型で作業を行う際は、左図の用にアクチュエーターを上側に向け、親指で操作をしてください。その状態で手首を左右にひねって操作を行ってください。

◆LEDライト

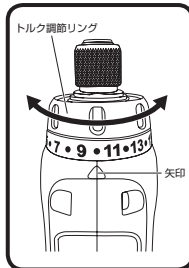
本製品にはLEDライトが2灯ついています。アクチュエーターを押すと点灯します。LEDライトはアクチュエーターを離してもおおよそ15～20秒間は点灯を続けます。

◆スピンドルロック

本製品にはオートスピンドルロック機構が内蔵されております。本体のスイッチを入れずに、本体を手で回すことにより自動的にスピンドルが固定され、手動ドライバーとしても使用することが可能です。ネジの増し締めや固く締まったネジを緩める時など、より大きなトルクが必要な作業に大変便利です。

△本製品の最大締め付けトルク値は4.0N・mです。能力以上の作業を行うと、ネジが回らなくなります。その際は、スピンドルロック機能を利用して、作業を終了してください。ただし、過度な力を加えると本体が破損する恐れがありますので、ご注意ください。

◆トルク調整装置



本機ではこのトルク（締め付けの強さ）調節リングによって、ネジを締め付ける力を16段階（1～15、MAX）に調節することができます。トルク調節リングを左右に回し、残量ゲージ側にある矢印に希望する力を合わせてください。その設定を上回る力が機械にかかった時は内蔵されているクラッチが働き、それ以上の無理な力が加わらずに空転させます。

何本かのネジ締めをする時に、最初の一本目でネジの頭が板とピッタリ平面になるところで回転が止まるようなトルクに設定しますと、二本目以降のネジ締めで平面を出すことが簡単になります。

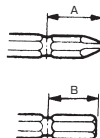
△太いネジや長いネジは高いトルク設定が必要ですが、細いネジや短いネジにはあまり高いトルク設定ではかえってネジをいためる場合がございますので、ご注意ください。

◆ビットの取り付け・取り外し方

△本製品にはビットは付属しておりません。作業の際には用途に適した、二面幅6.35mm、六角軸タイプの市販品を必ずご使用ください。

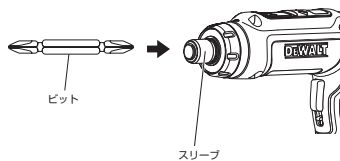
△本製品にはビットピースは付属しておりません。ビットピースは別売にて販売しています。お買い上げの販売店もしくは当社までお問い合わせください。（ビットピース：部品番号5147994-00）

警告 ビットなどの取り付け・取り外しの際には必ず本体から充電電池を取り外してください。本体が作動して、けがの恐れがあります。

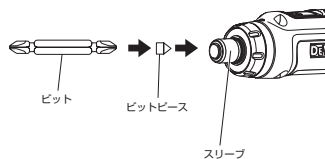


ビットのサイズ	ビットピース（別売）
A=16mm B=13mm	不要
A=11mm B= 9mm	必要

- ビットピース不要の場合は、ビットを矢印の方向に差し込むことで装着できます。



- ビットピースが必要な場合は、ビットピース、ビットの順に矢印の方向に差し込むことで装着できます。



- 取り外す場合は、スリーブをビットを抜く方向に引きながら、ビットを抜いてください。

△注意 ● ビットは奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不十分な場合スリーブが元の位置に戻らず、ビットの固定ができません。

- 上記サイズ以外のビット、またはビットピースが必要なタイプにビットピースを使用せず無理に使用すると、作業中にビットが抜けたり、取り外しができなくなることがあります。

メンテナンス

製品の掃除には、から拭き、水またはぬるま湯でうすめた中性洗剤を湿らせた布で表面を拭いてください。テレピン油、ペイント用シンナー等の薬品は使用しないでください。製品内部に液体の入らないように、また製品本体を液体に浸けないように十分注意してください。

⚠ 注意 本機のメンテナンスをする際は、必ず充電電池を抜いて行ってください。

アフターサービスについて

本機の修理、メンテナンス、調整は所定のサービスセンターにて有資格者が純正部品を使用して行わなければなりません。かならずお買い上げの販売店または当社認定サービスセンターまでご相談ください。修理の知識や技術のない方が修理を行いますと、事故やケガの恐れがあります。

♻ 充電電池と環境



Li-ion

リチウムイオン
電池はリサイク
ルへ

デウォルト社製コードレス電動工具に使用している充電電池はリサイクル可能な貴重な資源です。充電電池や製品の廃棄の際には、下記の手順に従いリサイクルにご協力ください。

- (1) 充電電池の寿命がなくなるまで使いきってから充電電池を交換してください（充電電池には寿命があります）。
- (2) お買い求めの販売店または所定のサービスセンターにお持ちください。

アクセサリ

本製品用の付属品は各販売店もしくは所定のサービスセンターにて販売しております。また付属品やアタッチメントについてのお問い合わせは、販売店または所定のサービスセンターまでご連絡ください。

△当社の認定しない付属品やアタッチメントのご使用は、事故やケガの原因になる恐れがあります。ご使用にならないでください。

